

医療従事者の負担軽減や処遇改善に係る取組

当院では、医療従事者の負担軽減や処遇改善を目的として職場におけるワークシェアや業務体制を見直し、時間外労働の抑制と休憩、休暇の取得促進に向け、以下の項目に取り組んでいます。

黒部市民病院役割分担推進委員会

- 医師事務作業補助者や看護補助者（特定技能人材含む）を雇用し、医師や看護師の負担軽減を図っています。
- 特定行為看護師は、特定行為区分に応じて、診療補助を行います。
- 夜間・休日における救急呼出の効率化と負担軽減につながる体制の構築を検討しています。
- 3交代勤務、変則2交代勤務、早出、遅出など、ライフスタイルに合わせた多様な勤務形態を導入しています。
- 妊娠・子育て中、介護中の職員には、育児休業・介護休業・深夜業務の制限等、負担の軽減に努めています。
- 院内保育所を開設し、仕事と子育てのバランスに配慮した柔軟な働き方が可能です。
- 新人バッチ・妊婦バッチをつけることで、心理的安全性の確保と身体的負担の軽減に努めています。
- 時間外労働を適正に管理できる体制として、出退勤管理システムを導入しています。
- 全職員が長期連続休暇（サバチカル制度）を取得できます。
- 有給休暇や夏季休暇の取得しやすい環境づくりと取得促進に努めています。
- 宿直・日直明け休暇制度の積極的な取得促進により、長時間勤務の抑制と負担軽減を図っています。
- 当院からの逆紹介や院外処方を推進し、扇状地ネットの活用を含め地域との連携強化を図っています。

令和7年4月1日改定